

RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータでのユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)の設定

目的

ユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)は、デバイスがネットワーク上で互いを検出できるようにするネットワークプロトコルのセットです。検出されたデバイスは、データ共有、通信、およびエンターテイメントのネットワークサービスを確立できます。

このドキュメントの目的は、RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータでUPnPを設定する方法を説明することです。

適用可能なデバイス

- ・ RV016
- ・ RV042
- ・ RV042G
- ・ RV082

[Software Version]

- ・ v4.2.2.08

UPnPの設定

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、Setup > UPnPの順に選択します。UPnPページが開きます。

UPnP

UPnP Function : Yes No

Service : DNS [UDP/53~53]

Service Management

Name or IP Address :

Enable :

Add to list

Delete Add New

View Save Cancel

ステップ 2 : UPnP機能を有効にするには、Yesオプションボタンをクリックします。

UPnP

UPnP Function : Yes No

ステップ 3 : Serviceドロップダウンリストから、適切なサービスと、UPnPデバイスに適用するサービスの定義済みポートを選択します。

Service :	DNS [UDP/53~53]
Name or IP Address :	
Enable :	

- DNS [UDP/53~53]
- FTP [TCP/21~21]
- HTTP [TCP/80~80]
- HTTP Secondary [TCP/8080~8080]
- HTTPS [TCP/443~443]
- HTTPS Secondary [TCP/8443~8443]
- TFTP [UDP/69~69]
- IMAP [TCP/143~143]
- NNTP [TCP/119~119]
- POP3 [TCP/110~110]
- SNMP [UDP/161~161]
- SMTP [TCP/25~25]
- TELNET [TCP/23~23]
- TELNET Secondary [TCP/8023~8023]
- TELNET SSL [TCP/992~992]
- DHCP [UDP/67~67]
- L2TP [UDP/1701~1701]
- PPTP [TCP/1723~1723]
- IPSec [UDP/500~500]

注：必要なサービスが使用できない場合は、「[サービス管理](#)」の項を参照してください。

ステップ 4：Name or IP Addressフィールドに、UPnPデバイスのIPアドレスまたは名前を入力します。

Service :	DNS [UDP/53~53]
	Service Management
Name or IP Address :	192.168.15.6
Enable :	<input type="checkbox"/>

ステップ 5：それぞれのIPアドレスに対してこの機能を有効にするには、Enableチェックボ

ックスにチェックマークを付けます。

手順 6 : [リストに追加 (Add to List)] をクリックします。新しいエントリがリストに表示されます。

UPnP

UPnP Function : Yes No

Service : DNS [UDP/53~53]

Service Management

Name or IP Address :

Enable :

Add to list

DNS [UDP/53~53]->192.168.15.6 [Enabled]

ステップ7: (オプション) UPnPリストからエントリを編集するには、編集するエントリをリストから選択し、必要な情報を編集して、Updateをクリックします。

ステップ8: (オプション) UPnPリストからエントリを削除するには、削除するエントリをリストから選択して、Deleteをクリックします。

ステップ 9 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

ステップ 10 : Viewをクリックして、UPnP転送テーブルを表示します。UPnP Forwarding Table Listウィンドウが開きます。

Service Name	Protocol	Ext.Port	Internal Port	IP Address	Enabled
DNS	UDP	53	53	192.168.15.6	Enabled

Refresh Close

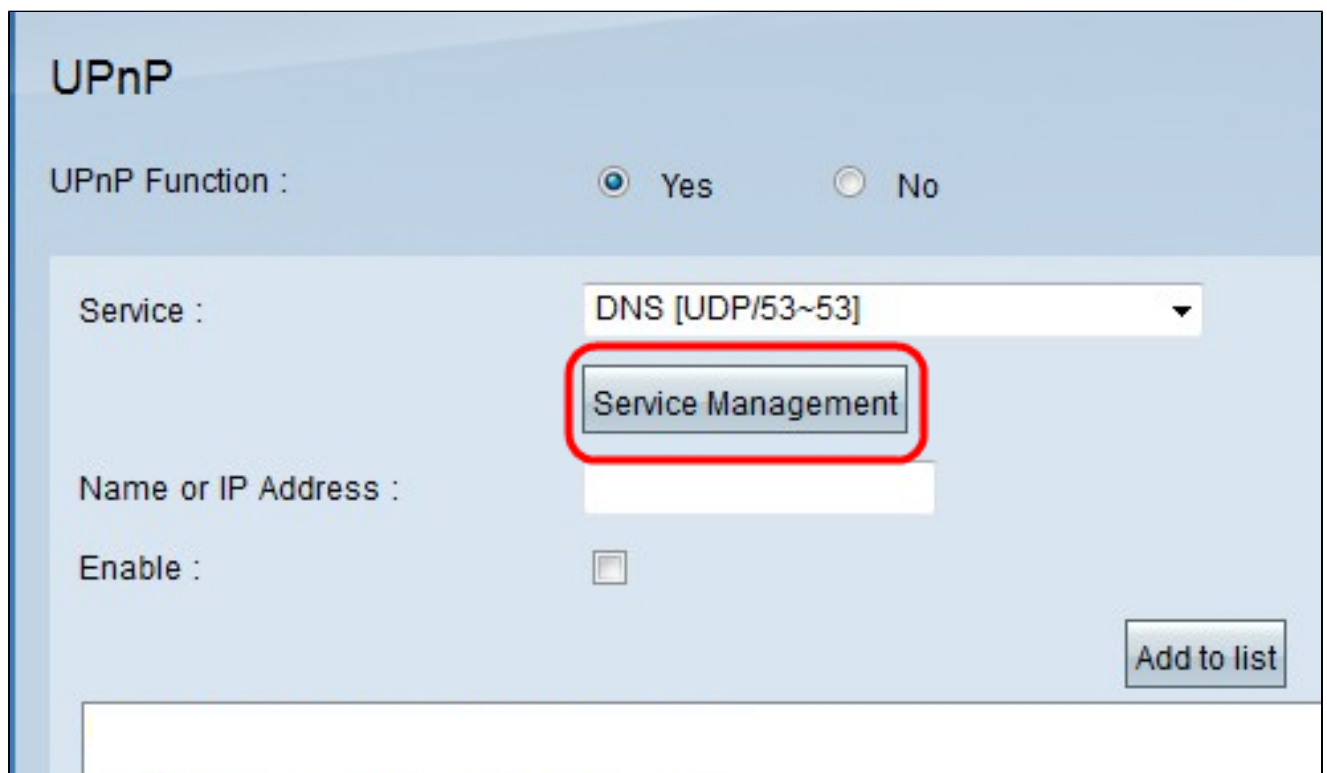
使用可能なオプションは、次のように定義されます。

- ・ サービス名 : サービス名を表します。
- ・ プロトコル : サービスに使用されるプロトコルを表します。
- ・ 内線番号Port : サービスの外部ポートを表します。
- ・ 内部ポート : サービスの内部ポートを表します。
- ・ IP Address:UPnPデバイスのIPアドレスを表します。
- ・ Enable:UPnPが有効か無効かを表します。

Service Management

Service Managementセクションは、UPnP設定の新しいサービスを作成するために使用されます。

ステップ 1 : [サービス管理 (Service Management)] をクリックします。



The screenshot shows the UPnP configuration window. At the top, the title is 'UPnP'. Below it, 'UPnP Function' is set to 'Yes' (selected with a radio button). The 'Service' dropdown menu is open, showing 'DNS [UDP/53~53]'. The 'Service Management' button is highlighted with a red rectangle. Below the dropdown, there is a text input field for 'Name or IP Address' and a checkbox for 'Enable' which is currently unchecked. At the bottom right, there is an 'Add to list' button.

Service Managementウィンドウが表示されます。

Service Name :

Protocol :

External Port :

Internal Port :

DNS [UDP/53~53]
FTP [TCP/21~21]
HTTP [TCP/80~80]
HTTP Secondary [TCP/8080~8080]
HTTPS [TCP/443~443]
HTTPS Secondary [TCP/8443~8443]
TFTP [UDP/69~69]
IMAP [TCP/143~143]
NNTP [TCP/119~119]
POP3 [TCP/110~110]
SNMP [UDP/161~161]
SMTP [TCP/25~25]

ステップ 2 : Service Nameフィールドにサービス名を入力します。

ステップ 3 : Protocolドロップダウンリストから適切なプロトコルタイプを選択します。

Service Name :

Protocol : TCP ▼
TCP
UDP

External Port :

Internal Port :

DNS [UDP/53~53]
FTP [TCP/21~21]
HTTP [TCP/80~80]
HTTP Secondary [TCP/8080~8080]
HTTPS [TCP/443~443]
HTTPS Secondary [TCP/8443~8443]
TFTP [UDP/69~69]
IMAP [TCP/143~143]
NNTP [TCP/119~119]
POP3 [TCP/110~110]
SNMP [UDP/161~161]
SMTP [TCP/25~25]

使用可能なオプションは、次のように定義されます。

- ・ TCP (Transmission Control Protocol ; 伝送制御プロトコル) : 保証された配信を必要とするアプリケーションによって使用されるトランスポート層プロトコル。
- ・ UDP(User Datagram Protocol) : データグラムソケットを使用して、ホストとホスト間の通信を確立します。

ステップ 4 : External Portフィールドに外部ポートを入力します。

注 : 作成されたサービスに標準のポート番号がある場合、その番号を外部ポート番号として使用する必要があります。

Service Name :	<input type="text" value="serviceexp"/>
Protocol :	<input type="text" value="TCP"/>
External Port :	<input type="text" value="15"/>
Internal Port :	<input type="text" value="28"/>

DNS [UDP/53~53]
FTP [TCP/21~21]
HTTP [TCP/80~80]
HTTP Secondary [TCP/8080~8080]
HTTPS [TCP/443~443]
HTTPS Secondary [TCP/8443~8443]
TFTP [UDP/69~69]
IMAP [TCP/143~143]
NNTP [TCP/119~119]
POP3 [TCP/110~110]
SNMP [UDP/161~161]
SMTP [TCP/25~25]

ステップ 5 : Internal Portフィールドに内部ポートを入力します。

注 : 外部ポート番号を使用できます。ただし、セキュリティを高めるために、他のポート番号も使用できます。

Service Name :	<input type="text" value="serviceexp"/>
Protocol :	<input type="text" value="TCP"/>
External Port :	<input type="text" value="15"/>
Internal Port :	<input type="text" value="28"/>
<input type="button" value="Update"/>	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"><p>NTTP [TCP/119~119] POP3 [TCP/110~110] SNMP [UDP/161~161] SMTP [TCP/25~25] TELNET [TCP/23~23] TELNET Secondary [TCP/8023~8023] TELNET SSL [TCP/992~992] DHCP [UDP/67~67] L2TP [UDP/1701~1701] PPTP [TCP/1723~1723] IPSec [UDP/500~500] serviceexp[TCP/15->28]</p></div>	
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Add New"/>	

手順 6 : [リストに追加 (Add to List)] をクリックします。サービスフィールドにサービスが表示されます。

ステップ7: (オプション) サービスを削除するには、削除するサービスをリストから選択して、Deleteをクリックします。

ステップ8: (オプション) サービスを編集するには、更新するサービスをリストから選択し、必要な情報を編集して、Updateをクリックします。

ステップ 9 : [OK] をクリックします。これにより、ウィンドウが閉じ、UPnPページに戻ります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。